

社会に広げよう 犯罪被害者支援の輪！

- ▼ 一般相談
☎ 9110
- ▼ 民間被害者相談電話
● 北海道被害者相談電話
☎ 011-232-8740
- 釧路被害者相談室
☎ 0154-246002
- 北海道暴力追放センター釧路支局
☎ 0154-235982

警察では、事件や事故の被害に遭われた方、配偶者や恋人からの暴力(ドメスティックバイオレンス/DV)・ストーカー行為、お子さんのいじめ問題などでお悩みの方の相談を受け付けています。

また、事件や事故による心の傷が癒されず悩んでいる方には、民間被害者相談窓口のカウンセラーがあなたの話を聞きます。

事件や事故でお悩みの方は、勇気を出してご相談ください。

▼ 警察相談電話
● 性犯罪・少年相談 110番
☎ 0120-677-110



犯罪の被害に遭われた方への理解を深めましょう

摩周 一〇番

弟子屈警察署
所在地交番
☎ 482-2110
川湯駐在所
☎ 483-2151

弟子屈中学校 町民参観日

11月7日(土) 10時40分～11時30分

町民の皆さんに、3時間目の授業を公開します。
お誘い合わせの上、ご来校ください。

授業/道徳(全学級)
教室/1A・1B
2A・2B
3A・3B

問い合わせ先/弟子屈中学校 ☎ 482-2071

介護の仕事に興味のある中学生・高校生の皆さんへ

介護の日フェアを開催します

11月1日の介護の日にちなみ、中学生・高校生の皆さんを対象に「介護の日フェア」を開催します。
介護の仕事への理解を深め、職業選択に役立ててみませんか。

- ▶ 日時/11月25日(水) 16時～17時
- ▶ 場所/摩周厚生病院 2階デイルーム
- ▶ 内容/介護の仕事紹介・介護体験・高齢者疑似体験など
- ▶ 参加料/無料
- ▶ 申込締切日/11月10日(火)
- ※ 申込書は各学校にあります。

申し込み・問い合わせ先/摩周厚生病院 ☎ 482-2241

スリップ注意！ スピードダウンと早めのブレーキで事故防止！

- 冬の交通安全運動を実施します
- 11月11日～20日、冬の交通安全運動が行われます。
- 交通安全運動は、皆さん一人一人が交通安全意識を高め、交通事故防止を徹底することを目的としています。
- ▼ 重点項目
 - 高齢者の交通事故防止
 - 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
 - 凍結路面などのスリップ事故の防止
 - 交差点の交通事故防止
 - 飲酒運転の根絶



シカとの事故多発！

道路わきからいきなりやってくる!!



気温が下がるにつれて、自動車を運転中にシカを回避できず、衝突する事故が増えてきています。これからの時期は特に、路面の凍結などで急に停止することができなくなります。

● シカは車を全く見ていません。

● シカを発見できる速度で走行しましょう。

冬山の遭難防止

- 冬山で遭難しないためには危険を理解し、対策を考えておく必要があります。
- ▼ 無理のない計画を立てましょう
 - 登山技術、体力、経験に応じた山を選ぶとともに、無理のない計画を立てましょう。登山計画書を必ず、最寄りの警察署か交番、駐在所に提出し、家族や職場にも日程を知らせましょう。
 - ▼ 気象情報を確認しましょう
 - 冬山は天候が急変しやすいです。入山前にテレビやラジオなどで天気を確認し、行動中も気象の変化に気を配りましょう。
 - ▼ 単独登山はやめましょう
 - 単独登山では、行動中のアクシデントに対応できないことがあります。特に冬山はリスクが高いことから、経験豊富なリーダーのもと、複数での登山が望ましいです。
 - ▼ 冬山の装備を携行しましょう
 - 冬山では、保湿度の高い登山靴やウェアなどが必要となります。また、非常時に備えて無線機や携帯電話などの通信手段を確保するほか、雪崩対策装備、ビバーク(野宿装備)を携行しましょう。

自動車運転免許 更新時講習

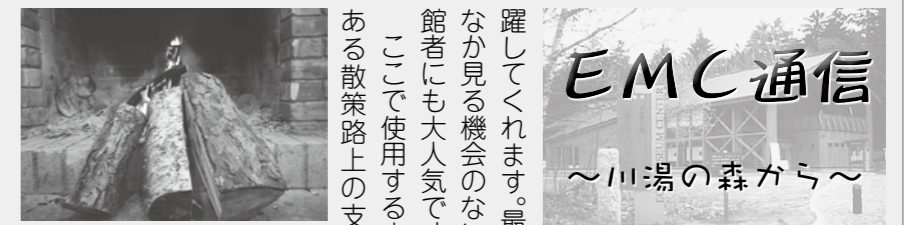
- 期日 11月18日(水)
- 場所 社会老人福祉センター
- ▶ 優良講習/11時30分
 - ▶ 一般講習/13時
 - ▶ 違反講習/9時
 - ▶ 初回講習/14時30分
- ※講習は、警察署で免許更新の手続きを済ませた後に受講してください。

アイヌの自然 視 万能な木の実

シケレペ(キハダの実)



「黄膚」という漢字が当てられるように、樹皮の内側の鮮黄色が特徴。漢方でも用いられるこの内皮は、粉末状にして喉の薬にしたり、煎じて温湿布のように使ったそうです。さらに利用度が高いのは実。かじってみると、ミカン科特有の香りが感じられる粒コショウ...といったところでしょうか。煮詰めて咳止めの薬としたほか、カボチャと合わせた混ぜ煮など、食材にもなります。シケレペは、現在でも重宝がられる存在です。



暖房のスイッチに手を伸ばす日が多くなってきました。EMCでは、これから春先にかけて暖炉が活躍してくれそうです。最近では、なかなか見る機会のない生の火が、来館者にも大人気です。

生の火の温もりを感じてみては...

す。一度目は、まきを集めたり割ったりする作業で。二度目は実際に燃やすことで。そして三度目は作った料理で。さらに四度目があるとするれば、囲む人の心を温めること...だとか。

まき割りをしてみると、樹種による堅さや木目の違いを実感できます。燃え方をじっくり観察してみると、様子が異なることにも気が付きます。今ここで、何の不思議も感じずに私たちが利用している火。この発見がヒトの社会的、文化的進化が急激に早まった大きな要因であること、時々、思い出してみてもいいかもしれません。そんな物思いにふける時間を、火は演出してくれます。センターでは料理こそ出ませんが、本や飲み物を用意しています。ぜひ、温もりを受け取りにお越しください。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎ 483-4100
URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/ 11月は9:00～16:00開館 毎週水曜日休館